

premier
PASSEPORT
pour la France

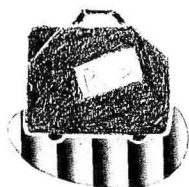
édition
révisée et enrichie

HAKUSUIISHA

第2版

パスポート 初級仏和辞典

内藤陽哉／玉田健二
クロード・レヴィアルヴァレス
共 編



白水社

別売 CD

初心者が正しい発音を身につけられるように、巻末付録のアルファベ、綴り字の読み方、数詞、および本文中に組み込まれた動詞の活用表（現在形が中心）を吹込んだ CD（シングル）を用意いたしました。

1 枚：定価（本体 1460 円＋税）

編 者

内藤陽哉（広島大学名誉教授）

玉田健二（安田女子大学）

クロード・レヴィ アルヴァレス（広島大学）

パスポート初級仏和辞典（第 2 版）

1995 年 12 月 10 日第 1 刷発行

2001 年 3 月 10 日第 6 刷発行

編 者 © 内 藤 陽 哉

玉 田 健 二

C. レヴィ アルヴァレス

発行者 川 村 雅 之

組 版 国際文献印刷社

印刷所 国際文献印刷社

製本所 松岳社青木製本

発行所 101-0052 東京都千代田区神田小川町 3 の 24
電話 03-3291-7811(営業部), 7822(編集部) 株式会社白水社

振替 00190-5-33228

Printed in Japan

ISBN4-560-00032-8

Ⓡ 〈日本複写権センター委託出版物〉

本書の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター (03-3401-2382) にご連絡ください。

第2版にあたって

5年ごとの改訂の第1歩、つまり第2版が実現した。その間、多くの方々から「読者カード」をお寄せいただいたことが何よりも嬉しかった。一枚一枚丁寧に拝見し、勇気づけられた。今回の改訂にあたっても初級のレベルを堅持するように心がけたのは、「読者カード」からそのことの重要性を痛感したからである。今回とくに意をそそいだのは、

- ①下欄の動詞活用形を本文中に組み込むこと。
- ②単語の動詞形、名詞形、形容詞形などをできるかぎり表示し、単語の関連性を明らかにすること。
- ③類義語と反意語を充実すること。
- ④巻末の「和仏語彙集」を充実すること。

である。

最後に、思いがけず仏和のパスポートに「兄弟分」(『パスポート初級露和辞典』)が誕生し、その編者がかつての同僚・米重氏であることも二重の嬉しさであった。「ロシアから愛をこめて」ではなく「フランスから愛をこめて」エールをおくりたい。

この第2版を世に送り出すと同時に、第3版へ向けて改訂の作業に着手できるのは、編者の大きな喜びである。読者の方々はずいとも「読者カード」をお寄せいただきたい。

1995年10月

編者

まえがき(初版)

この《パスポート》は初級仏和学習辞典です。

これからフランス語を学ぼうとしている皆さんの多くは、これまで英語を学んできたことでしょう。英語では、中学生用、高校生用などの英和辞典、和英辞典が書店の辞書コーナーに数多く並んでいます。それに比べるとフランス語の辞書は数えるほどしかありません。特に初心者用の初級辞典がありません。フランス語を学び始めると、直ちに中級クラスの仏和辞典を手にとることになります。編者自身もその中の数冊のお世話になってフランス語を学んできました。

でも中級辞典は初級辞典を兼ねるものではありません。辞書の世界では大は小を、上級は初級を兼ねるものではないのです。

編者が大学でフランス語の初歩を教えるようになって以来ますます、初心者用の初級学習辞典の必要性を痛感してきました。そこで、私たちは、フランス語の特質を考慮した初級の学習辞典を作りたいと思いました。例えば、動詞の変化は、英語では初学者にとってそれほど難関ではありませんが、フランス語ではやはりつまずきの一因となるでしょう。動詞の変化が調べやすいように工夫をこらしました。

巻末への「送り主義」を廃し、本文中で処理する「現地主義」に徹する方法を採用し、「語義説明」「文法説明」「動詞変化」の3本柱を有機的に結合することを目指して模索しました。具体的には次の「この辞書の使い方」を読んでください。特に「この辞書の使い方[1]」は必ず見てください。

見出し語は約5000語です。中級辞典ほど多くはありません。でもフランス語の基礎を学ぶのに5000語で十分です。5000語をこの辞書でしっかり身につけてください。辞書を引くことが楽しくなるほど辞書を引いてください。それがこの辞書を作った編者の最大の願いです。

この辞書に飽きたらなくなったら、フランス語の基礎をマスターしたことの証拠でしょう。どうか次の段階へ飛躍してください。それを願っています。

主要参考文献

- Dictionnaire du français langue étrangère. Niveau 1, 2.* Larousse, 1978, 1979.
Mini débutants. Larousse, 1985.
Maxi débutants. Larousse, 1986.
Dictionnaire du français. Larousse, 1988.
Larousse de la grammaire. Larousse, 1983.
Dictionnaire Hachette, juniors. 1986.
Le tour du mot. Bordas, 1986.
Le Robert Méthodique. 1987.
Le Petit Robert des Enfants. 1988.
Dictionnaire actif de l'école. Nathan, 1988.
Albrecht Reum: *Petit Dictionnaire de Style.* (Edition remaniée par Henrik Becker) 1953.
Le Robert Junior illustré. 1993.
Le nouveau petit Robert. 1993.
Le Robert pour tous. 1994
W. Busse, J.-P. Dubost: *Französisches Verblexikon.* Ernst Klett, 1983.
H. Bonnard, H. Leisinger, W. Traub: *Grammatisches Wörterbuch Französisch.* Lambert
Lensing, 1984.
- 「仏和大辞典」白水社, 1981.
「小学館ロベール仏和大辞典」小学館, 1988.
「フランス基本単語 3469」大修館書店, 1972.
「プチロワイヤル仏和辞典」旺文社, 1986.
「新スタンダード仏和辞典」大修館書店, 1987.
「クラウン仏和辞典」(第4版)三省堂, 1995.
「現代フランス語法辞典」大修館書店, 1975.
「DSF. フランス語法辞典」白水社, 1988.
朝倉季雄「フランス文法事典」白水社, 1968./「フランス文法覚え書」白水社, 1967.
「フランス文法ノート」白水社, 1981./「フランス文法メモ」白水社, 1984.
「フランス文法論」白水社, 1988.
泉邦寿「フランス語を考える 20 章」白水社, 1978./「フランス語, 意味の散策」大修館書店,
1989.

この辞書の使い方 [1]

発音は発音記号とカタカナを併記し、カナ発音は中黒(・)で音節ごとに区切った。

注意する発音には④をつけた。

◆の後に派生語を示した。

複数形が agneaux であることを示す。

accès は複数形も同じ accès

(男)が artificiel, (女)が artificielle
名詞を修飾する場合、名詞の後に置かれる。

男が artisan, 女が artisane

男女同形であることを示す。
(un artiste, une artiste)

男性形は単数形と複数形とが同じことを示す。

機能語は図式化した。

地図①はフランス全図(表表紙見返し)、地図②はパリ市内図(裏表紙見返し)を示す。

複合時制の場合、過去分詞が変化しないことを示す。

重要な不規則動詞の活用形を見出しとした。

同音語を示す。

absolu(e) [アブ・ソ・リュ absɔly ④] 形 絶対の、完全な (= total, ⇔ relatif): la majorité ~e 絶対多数。

— **absolu** 男 絶対。

◆ **absolument** 副 絶対に (= tout à fait)。

agneau (狭) ~x [ア・ニョ aɲo] 男 子羊(の肉)。(☞ 羊は mouton)

accès [アク・セ akse] 男 《単複同形》①接近。近づくこと。アクセス。②(特定の場所に通じる)通路。入口: 《A ~ aux quais》(駅で)「プラットホームへの通路」。

artificiel(le) [ア・ル・ティ・フィ・スィエル artificiel] 形 《名》の後 人工的な。模造の。(⇔ naturel): des fleurs ~les 造花。

artisan(e) [ア・ル・ティ・ザ・ン artisan] 男/女 職人: un ~ d'art 工芸家。

artiste [ア・ル・ティストゥ artist] 男/女 《男女同形》芸術家。

anglais(e) [ア・グ・レ、グ・レーズ âgle, -gle:z] 形 《男》は単複同形 《名》の後 イギリス(人)の。英語の。 「人。」

— **Anglais(e)** 男/女 《男》は単複同形 イギリス

celui [ス・リュイ sɛlqi] (指示)代

指示代名詞

(男) (単)	(女) (単)	(男) (複)	(女) (複)
celui	celle	ceux	celles
[セル sɛl ↓]	[スウ sœ]	[セル sɛl]	

Alsace [アル・ザス alzas] (固有) 女 アルザス地方 (☞ フランス東部、ドイツと国境を接する)。⇔ 地図 ① D-2

bander [バン・デ bāde] (第1群: ④ bandé) 他 ① 包帯する。② 目隠しする。

— **se bander** (代動) (④ 不変) (+[身体の一部]) 自分の...に包帯をする: se ~ le poi-

aïe [アイュ aj] 間 ああ痛い。

aient [エ] (狭) ・現・3 複, **aies** [エ] (狭) ・現・2

同音 à

□(=)は類義語, (⇔)は反意語

□複合時制の時, 助動詞に être をとることを示す.

□◆印は①構文のパターンを示す.
この場合は *apparaître à + (人)* の後ろに属詞と *comme + (物)* とがどちらもくる可能性があることを示す.

②locution を示す.

□見出し語がそのままの形で用いられることを示す.

□【ミニ百科】の囲みを設け, 文化的背景を解説した.

□代表動詞への送りを示す.

achever [アシュ・ヴェ aʃve] (第1群変則 ⇒ acheter: ㊦ **achevé**) ㊦ 終える (= finir, terminer, ⇔ commencer): Il a achevé son roman en moins d'un an. 彼は一年足らずで小説を完成した.

apparaître [ア・バ・レトゥル aparɛtr] (不規則 ⇒ connaître: ㊦ **apparu**) ㊦ ㊦《助être》

①(突然に人, 太陽, 真理などが)現れる (⇔ disparaître): Un singe est apparu tout à coup. 突然猿が現れた.

②...のようだ (= paraître, sembler).

◆ **apparaître à + (人) + | [属詞] / comme + (物) |** 人に...のように思える: Votre projet m'apparaît un peu risqué. あなたの計画は少し危険だ. (㊦ 属詞の形容詞は主語の性・数に一致する)

appareil [ア・バ・レィユ aparej] ㊦ ①器具 (= instrument, machine): un ~ de chauffage 暖房器具. des ~s ménagers (掃除機, アイロンなどの)家庭用器具. ②カメラ (= ~ photographique). ③電話 (= ~ téléphonique): Allô, qui est à l'~? [電話で]もしもし, どなたですか.

apparence [ア・バ・ラース aparā:s] ㊦ 外観. 外見.

◆ **en apparence** 見かけは, 一見.

appartement [ア・パル・トゥ・マン apar-təmā] ㊦ アパルトマン, マンション: un ~ de trois pièces 3 部屋のアパルトマン. (㊦ ⇒ composer (se))

【ミニ百科】—アパルトマン—

appartement はビルの中の一世帯用の数室からなる住居をさし, 日本のいわゆるマンションに相当する. ただし, ワンルームマンションは studio と言う. appartement の集まった建物は immeuble. 一戸建ては maison.

appartenait ⇒ appartenir

appartenir [ア・パル・トゥ・ニール apar-tɛnir:] (不規則 ⇒ tenir: ㊦ **appartenu**) ㊦ (物が à の)ものである (= être à + (人)): Cette voiture appartient à mon père. この車は私の父のものだ.

◆ **il appartient à + (人) + de + [原形]** (㊦) ...することは人の義務だ: Il vous appartient de décider de votre avenir. 自分の将来を

appeler (第1群変則)		
直説法 ・ 現在	j' appelle ㊦ ジャベル 11	直説法複合過去 j' ai appelé
	tu appelles テュアベル	直説法半過去 j' appelais
	il appelle イラベル	直説法単純過去 j' appelai
	nous appelons ヌザブロン	直説法単純未来 j' appellerai
	vous appelez ヴザブレ	条件法現在 j' appellerais
	ils appellent イルザベル	接続法現在 j' appelle n. appelions
	命 (tu) appelle	現在分詞 appelant
	令 (n.) appelons	過去分詞 appelé
	法 (v.) appelez	

□ 代表動詞の活用表を該当見出し語の出来るだけ近くに示した。

□ CD シングルの頭出し番号

□ 活用表の注意すべき点を指摘。

□ l あるいは t の次に無音の e が来る時、それぞれ ll, tt に変わる。

決めるのはあなたのなすべきことだ。

appartenu [ア・パル・トゥ・ニュ], appartient-
dra, appartiens [ア・パル・ティヤン] ⇒ **appartenir**

apparu [ア・パ・リュ] ⇒ **apparaître**

appel [ア・ベル apel] ㊦ (声を出して) 呼ぶこと: faire l'~ 出席をとる。

□ 重要不規則動詞の活用形(と発音)。

□ 動詞の活用の種類を示し、過去分詞を表記した。

appeler [ア・プレ apel]

(第1群変則: ㊦ **appelé**) ㊦ ㊦ ㊦ 呼ぶ: ~ un taxi タクシーを呼ぶ。Réponds quand on t'appelle. 呼ばれたら返事をしなさい。㊦ (人に) 電話をかける (= téléphoner à): Appelez-moi à trois heures. 3時に電話をしてください。

◆ **appeler** A B A を B と名づける (= nommer): Mon fils a appelé sa première fille Françoise. 私の息子は長女をフランソワーズと名づけた。

— ㊦ 助けを求める: ~ à l'aide (au secours) 助けを求める。

— **s'appeler** ㊦ ...という名前である: Comment vous appelez-vous? — Je m'appelle Paul Martin. 「何というお名前ですか」「私はポール・マルタンといます」

appelle [ア・ベル] ⇒ **appeler**

appétit [ア・ベ・ティ apeti] ㊦ 食欲: avoir

この辞書の使い方〔Ⅱ〕

1. 見出し語

見出し語は約 5000 語である。そのうち約 500 語の重要語は大きく扱った（大活字）。

2. 発音

カタカナと発音記号を併記し、カタカナは中黒（・）で音節に区切った。⇒「発音のまとめ」3

発音が同音のものは発音記号の次に↓印をつけ、下欄に同音として示した。（動詞の活用形はふくまない）

3. 品詞表示

品詞は原則として発音記号の後に表示。⇒「略語表」（表表紙見返し）

4. 語義

㊦, ㊧, ㊨..., ①, ②, ③..., ①, ②, ③...の区分で分類した。

5. 名詞 ⇒ ㊦, ㊧, ㊨ など

①複数形：原則 (s) は表記しない。

x が付加される場合。

その他。

特殊なものは全体を表記。

複合語の場合。

単数複数同じ形のものはその旨を表記。

男性名詞が単数複数同じ形のもの。

② ㊦/㊧ は ㊦ および ㊧ であることを示す。

特殊な女性形

6. 形容詞 ⇒ ㊦, ㊧, ㊨, ㊩, ㊪

①女性形：原則 (e) を表記。

□ 発音は初めに男性形、次に女性形を示した。（ ）で女性形を示した場合もある。

男女同形の場合。

原則以外は音節単位で（ ）内に示した。

adresse [...] の複数形は表示されていないが *adresses* .

bateau(複 ~x) [...] : 複数形が *bateaux* であることを示す。

ani·mal(複 **maux**) [...] : 複数形が *animaux* であることを示す。

œil(複 **yeux**) [...] : 複数形が *yeux* であることを示す。

chef-d'œuvre (複 ~s~) [...] : 複数形が *chefs-d'œuvre* であることを示す。

fil [フィス fis ㊦] ㊦《単複同形》: *fil* が単数複数同じ形であることを示す。

bourgeois(e) [...] ㊦/㊧《㊦ は単複同形》: 男性名詞 *bourgeois* は単数複数同じ形であることを示す。

enfant [...] ㊦/㊧《㊦/㊧ 男女同形》: *enfant* が男性女性同じ形であることを示す。

blanchis·seur(seuse) [...] ㊦/㊧: ㊦ が *blanchisseur*, ㊧ が *blanchisseuse* であることを示す。

adroit(e) [ア・ドゥワワ(ットゥ) *adrwa(t)*] ㊦: *adroit* [ア・ドゥワワ *adrwa*] が男性形, *adroite* [ア・ドゥワワットゥ *adrwat*] が女性形であることを示す。

facile [...] ㊦: 男性女性同じ形であることを示す。

af·fec·tueux(tueuse) [ア・フェク・テュウ, テュウーズ *afektʏø, -tʏø:z*] ㊦: *affectueux* が男性形, *affectueuse* が女性形であることを示す。

特殊なものは全体を表記。

- ②複数形の不規則なものは図式化して示した。

男性第2形がある場合も図式化して示した。

男性形が単複同形のものはその旨を表記。

- ③名詞を修飾する形容詞の位置を《名》の前》、《名》の後》で示した。何も指示されていない場合は、名詞の前にも、後にも置かれる。

全体に係わる時は品詞のすぐ後、語義ごとに区別する時は語義番号の次に示した。

7. 動詞 ⇨ 他, 自, 代動, 非, 原形

- ①活用の種類を表記した。発音の次に(第1群), (第1群変則), (第2群), (不規則)の別を示し(第1群変則)および(不規則)は代表動詞に送った。
- ②動詞にはすべて過去分詞を記した。

- ③複合時制の助動詞は原則として être をとる場合のみ表記。

※同じ動詞で両方の助動詞をとる場合は avoir も表記。

- ④原形(複合形)とは、《助》+《非》の形を示す。例えば, aimer (原形 単純形) に対し avoir aimé を, aller に対し être allé(e, s, es) を指す。

- ⑤重要な不規則動詞の活用形を見出し語として取り上げ, 原形に送った。特に重要な活用形には, 法, 時制, 人称, カナ発音をつけた。

- ⑥代名動詞が見出し語になる場合, se は () に入れ, 後に置いた。

- ⑦代名動詞は複合時制で過去分詞が変化しない場合のみ《非》と表記。

long, longue [ロツ, ローグ lɔ̃, lɔ̃g]: long が男性形, longue が女性形であることを示す。

amical(e) [ア・ミ・カル amikal] 形

(男)単 **amical**

(女)単 **amicale**

(男)複 **ami-caux** [コ・ko] (女)複 **amicales**

fou, folle [フウ, フォル fu, fol] 形

(男)1

(男)2

(女)

(単) **fou**

fol

folle

(複)

fous

folles

silen-cieux(cieuse) [スイ・ラン・スイウ, スイウーズ silãsjø, -sjø:z] 形《(男)は単複同形》: 男性形 silencieux は単数複数が同じ形であることを示す。

efficace [エ・フィ・カス efikas] 形《(名)の後》: この形容詞は名詞を修飾する場合は名詞の後に置かれることを示す。

brave [ブラーヴ bra:v] 形 ①《(名)の後》勇敢な。度胸のある (= courageux):

②《(名)の前》正直な。律義な:

élire [エ・リーる eli:r] (不規則 ⇨ lire: 形 élú) 他: 不規則動詞で, その活用は lire と同形であることを示す。

上記 élire の過去分詞は élu であることを示す。

passer [パッ・セ pase] (第1群: 形 passé) 他《助 être》

sortir [ソる・ティーる sorti:r] (不規則 ⇨ partir: 形 sorti) 自《助 être》

— 他《助 avoir》

④原形(複合形)とは、《助》+《非》の形を示す。例えば, aimer (原形 単純形) に対し avoir aimé を, aller に対し être allé(e, s, es) を指す。

est¹ [エ ε ⑥] (直・現・3 単. ⇨ être

ont [ォ ⑤] (直・現・3 複. ⇨ avoir

procurer (se) [ス・プロ・キュ・レ sɔ̃prokyre] (第1群: 形 procuré) 代動

— **se laver** 代動 ② (+ [身体の一部]) 《非》不変》自分の ... を洗う: Elle s'est lavé les mains.

8. 冠 詞

用例中の名詞には必ず冠詞をつけた。例えば〈du café au lait カフェオレ〉とした。しかし、これは〈café au lait〉という名詞が常に部分冠詞〈du〉をとることを意味しない。〈café au lait〉がどの冠詞（あるいは指示形容詞など）をとるかは文脈により決まる。用例が文で示される場合は冠詞は決まってくる。例えば〈J'aime le café au lait.〉「カフェオレが好きだ」では定冠詞をとる。したがって、文の用例以外では、比較的多用される形を想定して冠詞をつけた。

9. 文法、語法

【文法】欄、【語法】欄などを設け、文法的、語法的に注意する点を説明した。⇒重要文法項目・語法一覧

10. 構文パターン

動詞、形容詞を中心に構文のパターンを図式化して、◆印で表記。

形容詞の場合は男性形のみを記した。

◆ **aimer** + | (原形 / **que** + (接) | のパターンは《aimer + 原形》および《aimer que + (接)》の構文をとることを示す。

◆ **être fier de** + | (図) / (原形) | のパターンでは男性形 (fier) のみ記したが、女性形 (fière) にもなる。

effet (図)

◆ **en effet** ①実際、②なぜなら。

paisible [ペ・ズィブル pe:zibl] (形) 《(名)の後》平穏な、静かな。(= calme, tranquille)。

pair(e) [ペーる pe:r] (形) 《(名)の後》偶数の (⇔ impair)。

11. 成句 (locution)

◆印で表記。

12. 類義語、反意語

基本的な類義語 (=), 反意語 (⇔) を語義の後につけた。

13. 同族語

①見出し語の名詞形、動詞形などの同族語を☞で示した。

②見出し語の同族語を必要に応じて◆印で示し、品詞と語義をつけた。

pleuvoir

(☞名詞形は pluie (図))

illustrer

◆ **illustration** (図) 挿絵、例証。

14. ミニ百科

【ミニ百科】欄を設け、百科的内容を簡潔に説明した。⇒【ミニ百科】一覧

15. 人、物、(図)について

[主語は人][主語は物]で人、物、また構文パターンなどで(人)、(物)、(図)の略語を用いた。この場合の物(物)は、いわゆる物体を指すのではなく、人(人)以外の名詞を示す。また(図)は(人)、(物)を含めて名詞が用いられることを示す。

16. 用 例

用例は：印の後に記した。ただし用例が他の見出し語にある場合は (例 ⇒) とした。

enfin [...] (副) . . . (例 ⇒ **abord** (d')) : enfin を用いた用例が **abord** (d') の項にあることを示す。

重要文法事項一覧

[名 詞]

名詞の複数形と女性形 ⇒ nom 【文法】

[冠 詞]

不定冠詞 ⇒ un²

定冠詞 ⇒ le¹

定冠詞の縮約 ⇒ au, aux, du², des²

部分冠詞 ⇒ du¹

冠詞の変形 ⇒ de²

[形容詞]

品質形容詞の性と数 ⇒ adjectif 【文法 1】

品質形容詞の位置 ⇒ adjectif 【文法 2】

指示形容詞 ⇒ ce¹

所有形容詞 ⇒ mon, ton¹, son², notre, votre, leur²

疑問形容詞 ⇒ quel

比 較 ⇒ plus², aussi, moins, meilleur, pire

[代名詞]

人称代名詞 [主語] ⇒ je, tu, il, elle, vous

[直接目的語] ⇒ me, te, le², vous

[間接目的語] ⇒ me, te, lui, vous

[強勢形] ⇒ moi

副詞的代名詞 ⇒ en², y¹

中性代名詞 ⇒ le³, en³, y²

目的語代名詞の併用 ⇒ phrase 【文法】

疑問代名詞 [人の場合] ⇒ qui¹, 誰 + qui¹

[物の場合] ⇒ qu'est-ce qui, que¹, 何 + quoi

⇒ le quel

指示代名詞 ⇒ ce², ceci, cela, ça

⇒ celui

所有代名詞 ⇒ le mien, le tien, le sien, le nôtre, le vôtre, le leur³

関係代名詞 ⇒ qui², que⁴, où, dont, le quel

[副 詞]

副詞の位置 ⇒ adverbe 【文法】

pas の位置 ⇒ pas¹ 【文法】

疑問副詞 ⇒ quand, où, combien, comment, pourquoi

疑問副詞の位置 ⇒ quand 【文法】

比 較 ⇒ autant, mieux, pis, [形容詞] の比較を参照

[動 詞]

動詞の法 ⇒ mode² 【文法】; 「動詞活用の仕組み」(巻末)

動詞の時制 ⇒ temps 【文法】; 「動詞活用の仕組み」(巻末)

直説法現在 ⇒ présent 【文法】

〃 複合過去 ⇒ passé 【文法 1】

〃 半過去 ⇒ imparfait 【文法】

〃 大過去 ⇒ plus-que-parfait 【文法】

〃 単純過去 ⇒ passé 【文法 2】

〃 前過去 ⇒ passé 【文法 3】

直説法単純未来

〃 前未来

条件法の法と時制

接続法の法と時制

命令法

代名動詞

再帰代名詞 se の省略

非人称構文

受動態（受身）

現在分詞

ジェロンディフ

過去分詞

過去分詞の一致

[前置詞]

[接続詞]

[文]

疑問文

否定文

疑問に対する答え方

強調構文

主語人称代名詞の強調

直接話法と間接話法

6 基本文型

⇒ futur¹ 【文法 1】

⇒ futur¹ 【文法 2】

⇒ conditionnel 【文法】

⇒ subjonctif 【文法】

⇒ impératif 【文法】

⇒ se 【文法 1】; 「動詞活用 of の仕組み」(巻末)

⇒ se 【文法 2】

⇒ il ②

⇒ voix 【文法】; 「動詞活原用の仕組み」(巻末)

⇒ participe 【文法 1】

⇒ en¹ ⑤

⇒ participe 【文法 2】

⇒ avoir 【文法】, être 【文法】

⇒ à, après, avant, avec, chez, contre, dans, de¹, depuis, en¹,
entre, jusque, par, pour, sans, sous, sur

⇒ et, ou, mais

⇒ est-ce que, 疑問形容詞, 疑問代名詞, 疑問副詞を参照

⇒ ne, ni, guère, jamais, pas¹, plus¹, point²

⇒ oui, non, si

⇒ qui² ③, que⁴ ②

⇒ qui² 【文法】

⇒ discours 【文法】

⇒ phrase 【文法】

【語法】一覧

それぞれの見出し語の【語法】欄を参照すること。(同じ見出し語に2つ以上の【語法】がある場合のみ番号を表記)

[名詞]

男性名詞の語尾	⇒ masculin
女性名詞の語尾	⇒ féminin
an と année	⇒ an
matin と matinée	⇒ matin
soir と soirée	⇒ soir
単数か、複数か	⇒ aimer 【2】
mode と manière	⇒ mode ²
深さ、高さ、奥行き	⇒ profond
上の人はお隣さんか	⇒ voisin

[形容詞]

形容詞の一致	⇒ air ²
形容詞の一致	⇒ compris
高さ、縦、横、深さ	⇒ haut
moins と plus petit	⇒ moins
neuf と nouveau	⇒ nouveau
tout の位置 (1)	⇒ tout 【1】

[代名詞]

tu と vous	⇒ tu
vous と tu	⇒ vous 【1】
属詞の形容詞の一致	⇒ vous 【2】
強勢形3人称の注意	⇒ moi
personne と rien	⇒ personne ²
何か、誰か	⇒ quelque chose
rien, personne の語順	⇒ rien
tout の位置 (2)	⇒ tout 【2】
誰にとって?	⇒ falloir
間接目的語が人の場合	
合と物の場合	⇒ penser
de + 図 は何で受け るか	⇒ souvenir (se)

[動詞]

日本語を話す	⇒ parler
身につける	⇒ mettre
身につけている	⇒ porter
貸す ⇔ 借りる	⇒ louer
焼く	⇒ cuire
雨が降る、雪が降る	⇒ tomber
aimer と aimer bien	⇒ aimer 【1】
connaître と savoir (1)	⇒ connaître
connaître と savoir (2)	⇒ savoir
écouter と entendre	⇒ écouter

pouvoir と savoir	⇒ pouvoir 【2】
regarder と voir	⇒ regarder
pouvoir の後の 原形の省略	⇒ pouvoir 【1】

[副詞]

様態を示す副詞 ~ ment	⇒ adverbe
昨日、今日、明日	⇒ aujourd'hui 【1】
以前、今、今後	⇒ aujourd'hui 【2】
davantage と plus	⇒ davantage
pourquoi と 複合倒置	⇒ pourquoi
peu と un peu	⇒ peu
si, tant, tellement	⇒ si ¹
早く、速く、遅く、ゆっくり	⇒ tôt
beaucoup と très	⇒ très
おそらく	⇒ peut-être
もっと安く	⇒ marché

[前置詞]

国名、地名と前置詞 à	⇒ à 【1】
国名、地名と前置詞 de	⇒ de ¹
国名、地名と前置詞 en	⇒ en ¹
住所と前置詞	⇒ habiter
「前」「後」の表現	⇒ devant
entre と parmi	⇒ entre
avant と devant	⇒ avant 【1】
...前に(時間的)	⇒ avant 【2】
...後に(時間的)	⇒ après
...から(時間的)	⇒ depuis
pendant の省略	⇒ pendant
交通手段の表現	⇒ à 【2】
乗物と前置詞	⇒ monter
季節の前の前置詞	⇒ saison
à cause de と grâce à	⇒ cause
rue と 圃 + 定 圃	⇒ rue

[接続詞]

単語を列挙する場合	⇒ et
ni と et	⇒ ni
なぜなら	⇒ car ¹

[その他]

時刻の表し方	⇒ heure
日付、曜日に関する表現	⇒ jour
天気表現	⇒ temps

【ミニ百科】一覧

[フランス]

フランス	⇒ France
フランスの県	⇒ département
フランスの主な祝日	⇒ fête
復活祭	⇒ Pâques
フランスの鉄道	⇒ chemin
トゥール・ド・フランス	⇒ tour ¹
パリ	⇒ Paris

[学 校]

フランスの学校	⇒ enseignement
フランスの学期	⇒ trimestre
フランスの学校の 休み	⇒ vacances
登録する	⇒ inscrire
先生	⇒ professeur
学生, 生徒	⇒ élève
試験	⇒ examen
成績評価	⇒ bien

[食 べ 物]

フランスの食事	⇒ repas
食卓用品	⇒ couvert
豚肉屋	⇒ charcuterie
フランスのパン	⇒ pain
フランスの菓子	⇒ pâtisserie
フランスのチーズ	⇒ fromage
フランスの野菜	⇒ légume
フランスの果物	⇒ fruit

[政 治]

フランスの国会	⇒ Parlement
大臣	⇒ ministre

[お 金]

お金	⇒ argent
フランスの紙幣	⇒ billet
貨幣	⇒ monnaie

[自 然]

いろいろな動物	⇒ animal
いろいろな鳥	⇒ oiseau
いろいろな魚	⇒ poisson
いろいろな木	⇒ arbre
いろいろな花	⇒ fleur

[乗り物]

いろいろな車	⇒ voiture
いろいろな船	⇒ bateau

[時 間]

人生の各時代	⇒ enfance
結 婚	⇒ mariage
四 季	⇒ saison
月 名	⇒ mois
曜 日	⇒ semaine
時 計	⇒ horloge

[空 間]

方 位	⇒ direction
通 り	⇒ rue
ホテルの等級	⇒ hôtel
アパートマン	⇒ appartement
階数の数え方	⇒ étage
部屋の種類	⇒ pièce
カフェと喫茶店	⇒ café

[その他]

手紙の宛名の書き方	⇒ adresse
医 師	⇒ médecin
雑 誌	⇒ revue
椅 子	⇒ chaise
挨拶	⇒ bonjour
別れの挨拶	⇒ revoir
文房具	⇒ papeterie
親 族	⇒ parent
写 真	⇒ photo
郵 便	⇒ poste ¹
職 業	⇒ profession
主要国名一覧	⇒ de ¹

[図 版]

身 体 (corps)	p.69
家 (maison)	p.181
自 然 (nature)	p.201
服 装 (vêtements)	p.333
町 (ville)	p.335

A, a [ア a]



a [ア] 値・現・3単 ⇒ avoir

à [ア a] 前

《①大文字の場合はアクセント grave が省略されることが多い, ②定冠詞と縮約する: à + le → **au**, à + les → **aux**. la, l' とは縮約しない》①[場所・方向]...に, ...で, ...へ: Il habite à Rome. 彼はローマに住んでいる。Mon père habite au Japon. 私の父は日本に住んでいる。Qu'est-ce qu'on joue à ce théâtre? この劇場では何を上演していますか。Je vais au cinéma. 私は映画へ行く。

【語法1】—国名, 地名と前置詞 à—

à + 都市名 à Paris パリに

au + 国名(単) au Japon 日本に

aux + 国名(複数) aux États-Unis 合衆国に

en + 国名 en France フランスに

(☞ 国名も母音(無音のh)で始まる場合は en をとる: en Iran イランで) ⇒ **en** ①

②[時]...に: à onze heures 11時に, A bientôt! また近いうちに。

③[手段]...で: à bicyclette (vélo) 自転車で, à pied 徒歩で。

【語法2】—交通手段の表現—

à cheval 馬で, en avion 飛行機で, en voiture 車で, en (par le) train 列車で。(☞ 乗り物の内部に入る場合に en を用いる ⇒ **en** ③)

④...の入った: un café au lait カフェオレ, un chou à la crème シュークリーム。

⑤[用途]...のための, ①[名] + à + 無冠詞[名]: une brosse à dents 歯ブラシ, une tasse à thé ティーカップ, ②[名] + à + [原形] une salle à manger 食堂, une maison à louer 貸家。

⑥[値段]...で(の): un timbre à cinq francs 5フランの切手。

⑦[動詞の間接目的語を導く] ①[+ 名] penser à ses enfants 子供たちのことを考える, obéir à ses parents 両親の言うことを聞く, ②[+ (原形)] commencer à chanter 歌い始める。

⑧[形容詞の補語を導く] ①[+ 名] des livres utiles aux études 研究に役立つ本。

②[+ (原形)] un roman difficile à comprendre 分かり難い小説。

◆ avoir à + (原形) ⇒ avoir

◆ de A à B AからBへ(まで): de Tokyo à Osaka 東京から大阪へ, de 3 heures à 5 heures 3時から5時まで。

◆ être à + (人) ⇒ être

abaisser [ア・ベ・セ abese] (第1群: ㊦ abaissé) ㊦ (ブラインド, 税金など)を下げる: ~ la vitre de la voiture 車のウィンドーを下ろす。

— s'abaisser (代動) (温度など)が下がる, 低くなる。

abandonner [ア・バ・ド・ネ abādōne] (第1群: ㊦ abandonné) ㊦ ①(人, 動物)を捨てる(= laisser, ⇔ conserver, garder): ~ sa famille 家族を見捨てる。②(場所)を去る(= s'en aller de, quitter): ~ son pays natal 生まれ故郷を離れる。③(仕事などを途中で)あきらめる(= renoncer à): ~ ses études 研究を断念する。④[直接目的語なしで] (試合などを)棄権する。⑤(人に財産など)をゆずる。

abats [ア・バ], abattait, abattra ⇒ abattre

abattre [ア・バ・ツ・ウ abatr] (不規則 ⇒ battre: ㊦ abattu) ㊦ ①(木, 壁など)を倒す: ~ un arbre 木を切り倒す。②(人, 獲物など)を撃ち落とす。射殺する。

— s'abattre (代動) 倒れる(= tomber)。

abattu [ア・バ・テュ] ㊦ ⇒ abattre

abeille [ア・ベ・ィ abej] ㊦ ミツバチ。

abîmer [ア・ビ・メ abime] (第1群: ㊦ abimé) ㊦ (衣類, 家具など)をだめにする, 痛める: ~ ses affaires 持ち物を破損する。

aboie [ア・ボ・ィ] ⇒ aboyer

abondant(e) [ア・ボン・ダン, ダ・ントゥ abōdā, -dā:t] ㊦ 《多く 名の後》たくさんの, 大量の: une récolte ~e 豊かな収穫。

abonnement [ア・ボン・マン abōnmā] ㊦

(新聞, 雑誌などの) 予約購読。

aborder [d'] [ダ・ボーレ dabɔːr] 副 句 まず, 初めに, (⇒ d' ~ ..., ensuite..., et enfin... の形式で用いられることが多い) D' ~ je me lève, ensuite je me lave le visage et enfin je déjeune. まず起き上がり, 次に顔を洗い, 最後に食事をする。

aborder [ア・ボレ・デ abɔːrde] (第1群: ② abordé) 他 ① (近づいて人)に話しかける (= s'adresser à): Un étranger m'a abordé. 外国人が私に話しかけた。② (問題など)に取りかかる: ~ l'étude de la grammaire française フランス文法の研究を始める。

aboutir [ア・ブ・ティエー abutir:] (第2群: ② abouti) 自 ① (道, 階段などが, à, dans, sur に)達する (= arriver): Cette rue aboutit (à la) place de la Concorde. この通りはコンコルド広場に出る。② (à + 物, 結論などに)達する (= mener à): Cette enquête n'a abouti à rien. このアンケートからは何の結論もえられなかった。③ 成功する: Mes recherches ont enfin abouti. 私の研究はついに成功した。

aboyer [ア・ボワ・ィエ abwaːje] (第1群変則 ⇒ employer: ② aboyé) 自 (犬などが, après に)ほえる。

abri [ア・ブリ abri] 男 避難場所。雨やどりの場所。

◆ **à l'abri de** + (物) (雨, 危険など)を避けて。

◆ **se mettre à l'abri** 安全な所に身をおく: Ne restez pas sous la pluie, mettez-vous à l'~. 雨の中にいないで, 雨やどりしなさい。

abriter [ア・ブリ・テ abrite] (第1群: ② abrité) 他 [主語は物] (ホテルなどが)受入れる (= contenir): Ce théâtre peut ~ deux mille personnes. この劇場には2000人入れる。

— **s'abriter** (代動) 避難する (= se mettre à l'abri): s'~ du soleil 日差しを避ける。

absence [アブ・サーンス apsɑːs] ② 因 ① 留守。不在。② 欠席 (⇒ présence): en son ~ 留守中に。

absent(e) [アブ・サル, サートゥ apsa-, sɑːt] ② 形 《名の後》 ① 留守の。不在の。② 欠席の (⇒ présent): Il est ~ aujourd'hui. 彼は今日欠席だ。

— **absent(e)** (男/女) 欠席者。

absenter(s') [サブ・サル・テ sapsɑːte] (第

1群: ② absenté) (代動) s'~ (un instant) (ちょっと)席をあける。

absolu(e) [アブ・ツ・リュ apsɔly] ② 形 絶対の。完全な (= total, ⇒ relatif): la majorité ~e 絶対多数。

— **absolu** 男 絶対。

◆ **absolument** 副 絶対に (= tout à fait)。

absorber [アブ・ソレ・ベ apsɔrbe] (第1群: ② absorbé) 他 ① (液体など)を吸収する。② 飲む (= boire)。食べる (= manger): Cet enfant n'a rien absorbé depuis hier. この子供は昨日から飲まず食わずだ。③ (人)を独占する: Ses enfants l'absorbent du matin au soir. 彼(女)は朝から晩まで子供たちに忙殺されている。

◆ **être absorbé dans** + (物) ...に没頭している: Il est absorbé dans sa lecture. 彼は読書に没頭している。

abstenait ⇒ **abstenir(s')**

abstenir(s') [サブス・トゥ・ニエー sapstaniːr] ② (不規則 ⇒ tenir: ② abstenu) (代動) ① (ワインなど)を控える。避ける。

◆ **s'abstenir de** + [原形] ...することを止める: Abstenez-vous de fumer en classe. 授業中に煙草を吸うのは止めなさい。

② 棄権する (⇒ voter): Je compte m'~ aux prochaines élections. 今度の選挙は棄権するつもりだ。

abstenu [アブス・トゥ・ニュ], **abstiendra**, **abstiens** [アブス・ティヤン] ⇒ **abstenir(s')**

abstrait(e) [アブス・トゥれ(トゥ) apstre(t)] ② 形 《名の後》 ① 抽象的な (⇒ concret): un raisonnement ~ 抽象論。② 抽象の (⇒ figuratif 具象的): la peinture ~e 抽象絵画。

absurde [アブ・スユル・ドゥ apsyrd] ② 形 ばかげた。非常識な。 (= fou): des soupçons ~s ばからしい疑い。

académie [ア・カ・デ・ミ akademi] ② アカデミー: l'A ~ française アカデミー・フランセーズ。

accabler [ア・カ・ブレ akable] (第1群: ② accablé) 他 ① (税金, 暑さなどが人)を苦しめる。② (人が, de で, 人)を悩ませる: ~ le professeur de questions 先生を質問ぜめにする。

accélérer [アク・セ・レ・れ akselere] (第1群変則 ⇒ préférer: ② accéléré) 他 (動きな